

『「幸せな子」を育てるのではなく、どんな境遇においても「幸せになれる子」を育てたい。』この言葉が私の心に突き刺さってきました。これは美智子さまのお言葉です。インターネットで子育てに関する名言を検索して出て出会った言葉です。早速自分の『宝の言葉ノート』（良い言葉を書き留めている自分のメモノート）に書き込みました。

「クレヨンしんちゃんに学ぶ人生学」という興味深いタイトルがあったので開くと、なかなかの名言が載っていました。

「俺、今、家族と楽しくワイワイ笑ったり、時にはケンカしたりしながらさ、このままずっと一緒に元気に暮らしたいと思ってる。それが、今の俺の夢と言えば夢かな。俺さ、その夢のために今、毎日一生懸命働いているんだ。結構たのしいよ（野原ひろし）しんちゃんのパパの言葉も心に響きます。」

「この御恩は、忘れるまで忘れません」「成せば成る、洗えば食える何物も」（野原しんのすけ）さすがしんちゃん。おもしろい。

「ドラえもん」からしんちゃんとお父親の会話〜というタイトルもありました。

「パパ、あたし、およめにいくのやめるーあたしが行っちゃったら、

パパさびしくなるでしょ」
父親「そりゃもちろんだ」

「しんちゃん、これまでも、ずうっと甘えたりわがまま言ったり、それなのに、あたしのほうはパパやママになにもしてあげられなかったわ」

父親「とんでもない。君はぼくらにすばらしい贈り物を残していつてくれるんだよ」

「しんちゃん、贈り物？あたしが？」

父親「そう。数え切れないほどのね。最初の贈り物は、君が生まれてきてくれたことだ。午前3時ごろだったよ。君の産声が天使のラップみたいだに聞こえた。あんなに楽しい音楽は聞いたことがない。病院を出たとき、かすかに東の空が白んではいたが、頭の上はまだ一面の星空だった。この広い宇宙の片すみに、ぼくの血を受け継いだ生命がいま、生まれたんだ。そう思うと、むやみに感動しちゃって、涙が止まらなかつたよ。それからの毎日、楽しかった日、満ち足りた日々の思い出こそ、君からの最高の贈り物だったんだよ。少しぐらいきびしくても、想い出があたためてくれるさ。そんなこと気になんかなくていいんだよ。」

この会話を見て、心の中がなんだか、ほんわかと暖かくなりました。

「子育てってなかなかいいもんだなあ」としみじみと感慨にふけた、その日の僕でした。

「子育てってなかなかいいもんだなあ」としみじみと感慨にふけた、その日の僕でした。



毎月第1日曜日は「家庭の日」

毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。

青少年育成都留市民会議編集委員

連載・青少年健全育成シリーズ 第245回

「幸せになれる子」

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月

⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄